

コンデンサーにおもいやりを……  
硬質スケール

# スーパー・クリーン No.2000

## Super Clean No.2000

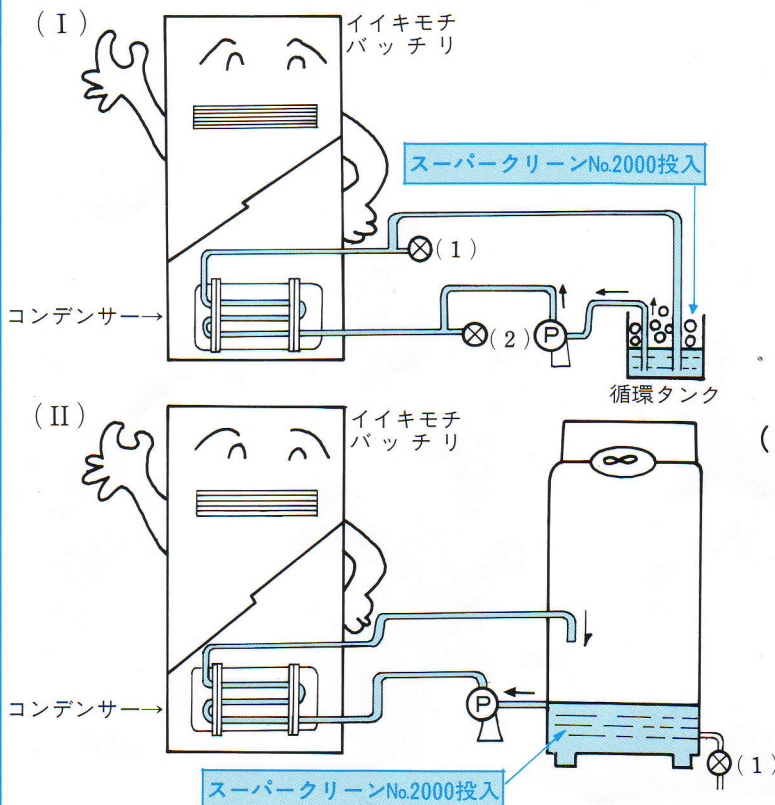
### スーパー・クリーンNo.2000の特長と洗浄方法及び注意

- ① シリカスケール、カルシウムスケール、カーボン混合スケール、加湿器スケール、スライム、水垢、藻の同時洗浄が出来ます。
- ② ポンピング洗浄の場合、通常のポンプですと気泡が発生して循環しない事が有りますので極力マグネットポンプを使用し、吸入口をループにすると吸入しないので薬剤面より吸入口が低くなる様に配管して下さい。
- ③ 洗浄タンクに原液又は倍にうすめたものを入れ、洗浄ホースを接続した上でスイッチを入れて下さい。
- ④ スケールの多く付着したものは泡立が多いので別容器の大きなものを置き、泡をくみ出して消泡して下さい。
- ⑤ 洗浄に入り最初は気泡が出て来ますが除々に少なくなるのでスーパークリーンNo.2000を追加し泡が出ない時点でスケールは除去されております。
- ⑥ クーリングタワーより洗浄する場合はファンを止めて20%以上で洗浄し中和してから排水して下さい。又、中和剤で中和する場合はクーリングタワーの中へ投入しないで下さい。
- ⑦ 洗浄によりガスモレ等が発生しても100%薬品のせいではなく、電触によるピンホールか乱流溶解等が主たる原因で発生するもので、スケール付着により、もっていたものがスケール洗浄により発生するので、お客様にそのむね注意しておいてから洗浄作業をして下さい。

### シリカスケール・カルシウムスケール・カーボン混合スケール・

### 加湿器スケール除去剤

#### スーパー・クリーンNo.2000の洗浄方法



#### (I) ポンピング洗浄法(タンク循環法)

硬質スケール洗浄(シリカ、カルシウム等)の場合、他社製品の場合は2段洗浄でしか処理出来ず長時間をかけて処理をするが、スーパー・クリーンNo.2000は短時間で1段洗浄で処理が出来ます。  
バルブ①及び②を閉じポンプを以って20~40分循環する。循環タンク内に放出される各スケールの泡をかき取り、泡が出なくなった時点で各スケール除去されたと共にバルブ①を開いてコンデンサー内を水洗し、廃水泡に付いては、中和剤を添加し、PH調整して放流する。

#### (II) クーリングタワー洗浄法

クーリングタワー水槽の保有水量を循環に必要な最少量にし原液を水槽に注入し、ポンプを以って10分循環し、泡の状態を見ながら処理する。各スケールが除去された時点で補給水を注入すると共に①バルブを開き、中和剤を添加してPH調整してから放流する。

(又、I IIの廃液は自社に廃水処理装置があれば、貯槽に投入して処理をする)